



次長 一色 重紀

## 加速する変革の中、 一層自律的に学び続ける教職員を目指して

この2年間、新型コロナウイルス感染症への対応に全世界が膨大なエネルギーを費やしてきました。ワクチン接種、経口薬の開発等が進んできたとはいえ、いまだ、予断を許さない状況です。学校現場においても同様で、そのような中、子どもの学びを保障すべく、日々ご対応いただいている皆様には深く敬意を表するところです。

先日、ある小学校6年生児童の「修学旅行が何度も延期になって、もう行けないかと思ったけれど、紅葉の一番きれいな時期に行くことができてよかった」という2学期の振り返りを耳にしました。多くの教育活動が中止や延期、規模縮小と制限される中、その結果をプラス思考でとらえてくれた児童の存在にほっとしました。危機管理上余儀なくされる対応や工夫の数々が、よい意味で新しい教育活動の創出や成果へとつながる改善や飛躍の機会へと転化できればと心から願います。

また、IoTやAI、ビッグデータ等の活用によって進行している第4次産業革命や、その技術革新を日常や産業等に取り込み、一人ひとりが活躍できる社会、様々な課題を克服できる「超スマート社会」を実現するSociety 5.0のように、時代が大きく変化している中でのコロナ禍です。教育現場においても、新学習指導要領の実施という教育改革の時期に重なりました。しかし、求められていた社会や産業、教育の変革は停滞するどころか、コロナ禍でおしる加速しています。感染拡大を抑えるために移動や接触を減らす対応、例えば、リモートワーク、オンライン会議、電子決済などへのAI、情報通信技術、データの利活用等が生活の至る所に一層浸透してきました。教育現場でも、GIGAスクール構想のもと、1人1台端末や大容量高速通信網が整備され、それらを活用した学びの充実を迫られています。

さて、話は変わりますが、昨年大河ドラマで明治の実業家である渋沢栄一氏は論語を愛読したと聞き、私自身、久しぶりに論語に触れる機会を得ました。私の好きな一説に「吾日三省吾身。為人謀而不忠乎。与朋友而交不信乎。伝不習乎。」というのがあります。人に対して真心を尽くして接したか、自分がよく分かっていないことを人に教えていないかという観点で、自分の行いを

日々何度も反省し、成長していこうという趣旨です。論語は読む人の数だけ解釈があるといわれますので、それに甘え、私としては、前半の利他主義の姿勢への賛同とともに、後半は、常に自分の行いを振り返り、時代が必要とする更新を自分自身にどんどん施すことが大切だと捉えています。

「第4次産業革命により到来する時代では単純肉体労働だけでなく知的労働も含めて、人間の仕事がAI等に奪われる」という未来予測は、コロナ禍の急激な変化の中、早々に現実のものとなってきました。新たに創出される雇用やAIに代替できない仕事に対応するためには、誰もが新たに学び、スキルアップする必要があるといわれています。コロナ禍の中、私自身、積極的に情報を収集する中で、社会の変化に教育が追いついていかれるのではと危惧するとともに、これからの時代に、創造性、それを生み出す探究力、主体性や協働性等が必要だといわれることに改めて得心しています。そして、これらは新学習指導要領が実現を目指すものに他なりません。我々教職員は、このような緊迫した時代に生き、次代を担う人材の育成に携わっていることを強く自覚しなければと思います。主体的・対話的で深い学びの実現に向けて、「教師が教える」から「子どもが学ぶ」へと教育活動の重心を移し、子どもが学ぶ必然性を自覚し自分事として主体的・協働的に学ぼうとする状況に導く指導力が求められています。この変化の時代だからこそ、今まで以上に自己研鑽に励み、時代が必要とするスキルアップに励まねばならない、そのための「吾日三省吾身」だと思えます。

総合教育センターでは、新学習指導要領に則り、子どもの確かな学力の育成につながる教科指導力の向上を目指した研修や研究、教育活動の活性化につながる学校等支援等、令和4年度事業を企画しています。1人1台端末を「学びの道具」として効果的に活用するICT活用指導力についても全研修・研究に位置付けます。今後も、総合教育センターは、変化の時代を生き抜く滋賀の子どもの資質・能力の育成のため、自らをさらに高めようと自律的に学び続ける教職員を支援してまいります。ともにがんばりましょう。

## 令和3年度の研究成果をご活用ください

プロジェクト研究		
小学校 中学校	読み解く力	「読み解く力」の育成に重点を置いた、全ての児童生徒が学びを実感できる授業づくりⅢ -ICTを効果的に活用し、よりよく「再構築」をすることを通して-
	情報教育	小・中学校1人1台端末環境における児童生徒の情報活用能力を育成する授業づくりのあり方 -継続的に授業づくりのサイクルを回すための校内研修による学習活動の充実-
	校内研究活性化	小・中学校における全ての教員の授業改善につながる校内研究 -一人ひとりの教員の自律的な学びを支える組織的・継続的な取組の充実-
特別支援 学校	特別支援教育	特別支援学校における自分らしい生き方の実現に向けた取組の充実 -児童生徒が主体性を発揮する、ICT活用による実践を通して-

学校派遣研究		
小学校	国語科	児童が語彙を豊かにし、自分の考えを形成することができる小学校国語科の授業づくり -「読むこと」の学習における、語句に着目して考える指導の工夫-
	算数科	筋道を立てて考察する力の育成を目指す小学校算数科の授業づくり -児童が1人1台端末を効果的に活用し、数学的な見方・考え方を働かせるための指導の工夫-
中学校	特別の教科 道徳	道徳的価値や人間としての生き方についての自覚を深め、自らの成長を実感できる中学校道徳科の授業づくり -個に応じた評価とフィードバックの組織的な取組-

課題研究		
小学校	理 科	デジタルコンテンツを効果的に活用した1人1台端末環境における小学校理科の授業づくり -問題を科学的に解決する活動に理科の見方・考え方を意識的に働かせて取り組むために-
高等学校	理 科	効果的なICTの活用による思考の振り返りを重視した高等学校理科の授業づくり -思考を整理して再構築する力の育成を目指して-
	情報教育	1人1台端末とクラウドを活用した「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けた高等学校の授業づくり -家庭学習での学びと授業での学びとの連携を通して-

## 令和3年度「第64回 研究発表大会」

今年度も、新型コロナウイルス感染症対策として、オンライン（オンデマンド型）による開催となりました。研究内容は、研究論文(第64集)として各校園等にお届けします。研究発表大会動画と併せて校内研修等で、ぜひ、ご活用ください。



## 特別支援教育相談について

幼児・児童・生徒の発達や行動、学習、集団生活への適応などに関する相談に、専門の相談員が具体的な支援内容等と一緒に考えます。また、特別支援学級の担任や通級による指導の担当者等の授業づくりや個別ケースの指導・支援に関する相談に応じます。

- 連絡先……TEL 077-588-2505 (教育相談専用)
- 対象……本人(幼児・児童・生徒)・保護者・教職員 等
- 方法……来所による相談、電話による相談
- 相談日……月～金曜日(祝日、年末年始 等を除く)
- 相談時間… 9:00～12:30、13:30～16:30

## 図書資料室より

新館2階図書資料室では、教育関係の書籍や資料を閲覧したり、借りたりすることができます。令和3年4月から12月まで、536冊の貸出がありました。今後もどうぞ、ご利用ください。



## 教育学習情報が役立ちます



研究成果	指導案・実践事例
デジタル教材・素材	各校園の研究紀要
全国学力・学習情報関連資料	滋賀県教育委員会作成資料

校種ごとに検索することも可能です。

Q キーワード検索

キーワード

研究成果(研究論文、研究成果物)や実践事例、教材などの教育学習情報をご活用ください。日々の実践に生かせる様々な情報をご覧いただけます。検索ページへは、センターHPの上部バナーからが便利です。

# 滋賀県総合教育センターは自律的に学び続ける教職員を支援します！

## 令和4年度 理念図

子ども一人ひとりの個性を大切に、生きる力を育む

確かな学力の向上を図り「夢と生きる力」を育むための指導力の向上

子ども一人ひとりの個性を大切に、生きる力を育むために、全ての教職員が、新学習指導要領で求められる授業改善に対応した教科指導力を身に付けることと、「教職員は学校で育つ」との考えのもと、自律的に学ぶ教職員を支援することに取組みます。

令和4年度 滋賀県総合教育センター 理念図

滋賀の教育大綱

教科指導改善・資質向上

- 全国学力・学習状況調査の結果を踏まえた教科指導改善
- 新学習指導要領への対応
- 小学校教科担任制への対応
- 1人1台端末の利活用の促進
- 合理的配慮や授業のユニバーサルデザイン化
- ファシリテーション力の向上

【管理職】
 

- 学校教育の原動力
- 学校経営の推進力
- 関係機関との連携力

【教諭】
 

- 教科指導力/授業力
- 生徒指導力/学級経営力
- 組織対応力

【養護教諭】【栄養教諭】
 

- 専門領域における指導力
- 生徒指導力
- 組織対応力

【事務職員】
 

- 調整力
- 企画力
- 組織力
- 実務能力

学校支援・働き方改革

- 学校組織マネジメントによる業務改善
- カリキュラム・マネジメントの推進
- 長期休業期間における研修日設定の工夫
- 校内研修の充実
- OJTによる同僚性の醸成
- 地域学校協働活動の推進

特別支援教育相談

- 子どもの自立を図るための発達段階に応じた支援
- 特別支援学級や通級による指導等に携わる教員への授業づくりや個別ケースの相談

学校等支援

- 「子どもが学ぶ」視点の重視
- 全国学力・学習状況調査の結果を踏まえた各校に応じた教科指導改善の提案
- 県立学校1人1台端末の利活用支援

コロナ禍の「自律的に学び続ける教職員」を全力支援！

研修

- 教職員の指導力の向上
- コロナ禍における集合とオンラインによるハイブリッド型研修の質の向上

研究

- 確かな学力の向上
- 課題研究・派遣研究・プロジェクト研究

## 令和4年度 研修事業

令和4年度 滋賀県総合教育センター 研修体系図 - “自律的に学び続ける教職員”を全力支援！ -

指定研修

希望研修

学校等支援研修

第Ⅰステージ 実践力形成期

第Ⅱステージ 成熟発展期

第Ⅲステージ 深化・応用・円熟期

リーダー養成研修

- 学校教育活動の推進役となるリーダーとしての資質・能力を養う
- ミドルリーダー研修
- 学校教育の情報化推進リーダー研修
- 県立学校1人1台端末活用推進研修
- 小・中学校特別支援教育コーディネーター研修
- 高等学校特別支援教育コーディネーター研修

教科指導力向上研修

- 教科指導に関する専門性を向上させ、確かな学力の向上を図る資質・能力を身に付ける
- 教科指導力向上研修
- 読み解く力教科指導研修
- 小学校教科担任パワーアップ研修
- ICTを活用した教科指導力研修

マネジメント研修

- 学校経営能力・校務運営能力等を高める
- 新任校長研修
- 新任教頭研修
- 教頭2年次研修
- 教頭校務運営研修
- 管理職等2次リーダー研修
- 新任主幹教諭研修
- 主幹教諭2年次研修

ステージ研修

- 確かな学力の向上につながる教科指導力、教育的ニーズに対応できる資質・能力を身に付ける
- 若手教職員研修
- 教職2年次研修
- 教職3年次研修
- 教職6年次G-OJT研修
- 中堅教諭等資質向上研修
- 初任者研修 新規・新任研修
- 若手教職員研修(小学校)における国語・算数の研修をより系統的に計画し、研修時間の割合を増やす
- コロナ禍を想定し、ステージ研修の4~5割をオンライン研修で計画する。また、学校教育のデジタル化を見据え、集合とオンラインのハイブリッド型研修の質の向上を図る。

職務研修

- 職務に応じた基本的な知識、技能等を身に付け、職務遂行能力を高める
- 特別支援学級新任担任研修
- 通級指導教室新任担任研修
- 理科実習助手研修
- 主任事務主査研修
- 現業職員研修

教科指導力アップ研修

- 授業の質・教科指導力を高める
- 国語科、社会科、算数科、数学科、理科、生活科、技術・家庭科、音楽科、体育科、道徳科、外国語活動・外国語科

専門研修

- 専門分野の指導力を高める
- 特別支援教育、理科教育(現代科学入門、理科の匠)、MLGs、情報教育、読書活動、教育フロンティア、学校保健、校内研究

自己啓発研修

- 自己の資質・能力を高める
- 滋賀県平和祈念館、滋賀県国際協会、滋賀県立男女共同参画センター、滋賀大学教育学部附属学校、独立行政法人教職員支援機構立命館大学センターの研修

学校サポートバック研修

- 学校と継続的に連携して授業力・教科指導力等を高める
- 読み解く力教科指導

市町・学校サテライト研修

- 学校・市町教育委員会・教育研究所等と連携して授業力・教科指導力等を高める
- 1人1台端末活用 教科指導
- 特別支援教育 情報教育

## 令和4年度 質の高い学校等支援事業

学校・教職員

実践と研修の一体化

教育実践

校内研修(研究) 計画的・組織的・継続的

学校サテライト研修

学校サポートバック研修

学校派遣研究(小・中)

学校継続支援事業

県総合教育センター

学校に寄り添い、学校の実態に応じた支援を実施し、協働で学校改善を進める(校内研究計画立案・指導案検討・事前事後支援・1人1台端末の効果的な活用等)

市町サテライト研修

授業研究会

市町教育研究会

市町教育委員会

市教育研究所

学校サテライト研修

学校からのニーズに応じて、センター所員が出向き、支援を行います。

市町サテライト研修

センター所員が出向き、センターで作成した研修パッケージを活用することで、センター研修と同様の研修効果が期待できます。

学校サポートバック研修

市町教育委員会が指定する学校での授業研究会等に複数回センター所員が出向き、学校を丸ごと支援します。

学校派遣研究

センター研究員が、受入校に出向き、学校の課題に応じた学校改善研究を行います。

## 令和4年度 学びの質を高めるための研究事業

国の動向、県の課題を見ずえた「研究」事業を推進することで、先進的・先導的研究を直接学校現場へ普及し、学校改善を支援します。

センター研究成果情報

最新情報です！ぜひご利用ください！

研究紀要・報告書

研究成果物

学校に寄り添う研究

実践的な指導力の向上につながる指定校研究や喫緊の教育課題に応じた研究で、学校改善を支援します。

プロジェクト研究

研修と実践の往還による実践力の向上を目指す指導改善研究を実施

学校派遣研究

研究員が毎週1日受入校で勤務し、学校の課題に応じた学校改善研究を実施

課題研究

喫緊の課題に対応した先進的・先導的な教科・領域研究を実施

センターHPで令和3年度までの研究成果をご覧ください。

## 令和3年度 センター事業にかかる アンケート結果《抜粋》

※詳細はセンターHPの「センター紹介」をご覧ください

対象：県内の幼・小・中・高・特別支援学校等、市町教育委員会および教育研究所等の教職員

実施時期：令和3年9月～11月

回答数：782人

ご協力ありがとうございました。

教科指導・保育指導に加えて、どのような内容の研修があれば受講したい(させたい)と思いますか。(3つまで)

0 50 100 150 200 250 300 350 (人)

道徳教育	147
小学校外国語活動	79
学級活動・学級経営	277
情報教育	313
環境教育	44
人権教育	107
生徒指導	223
教育相談	156
マネジメント	94
図書館教育・読書指導	20
地域連携	59
保護者連携	121
保幼小連携	91
小中連携・一貫教育	24
特別支援教育	267
その他	17

「情報教育」「学級活動・学級経営」「特別支援教育」の他に、幼稚園・認定こども園等は「保護者連携」「保幼小連携」、小学校、中学校、高等学校は「生徒指導」、特別支援学校は「教育相談」「人権教育」「地域連携」、市町教育委員会等は「保幼小連携」への期待も高い。

## 総合教育センターは、今後どのような分野・内容の研究を進めていくべきだと思いますか。(3つまで)

0 50 100 150 200 250 300 350 400 450 (人)

教科・保育指導	303
道徳教育	96
小学校外国語活動	58
学級経営	227
特別支援教育	249
情報教育(ICT活用等)	423
環境教育	43
人権教育	121
教育相談	110
保幼小連携	94
小中連携	36
学力・学習状況調査	58
学習環境	102
学校支援	108
防災訓練	39
その他	11

「情報教育(ICT活用等)」「教科・保育指導」「特別支援教育」の他に、小学校、中学校は「学級経営」、高等学校は「教育相談」への期待も高い。幼稚園・認定こども園等は「保幼小連携」への期待が最も高い。

オンライン研修について (自由記述による回答から抜粋)

- zoomでの研修は、他校の先生とも意見交換等ができ、大変ありがたく、今後の指導につなげることができそう。
- 集合研修の時のように、初任者として同じように困ったり悩んだりした意見を聞いて、解決策を考える交流ができてよかった。
- 講習を受けることが可能な時間を調整できるため、じっくりと取り組むことができた。
- 動画を何度も繰り返し再生し、内容理解を深めることができるので、大変ありがたい。
- オンライン授業を想定したものであったので、勉強になった。
- オンデマンドで対応できるもの、対面で実施した方がよいものをうまく使い分けてほしい。
- 長時間の研修になると、対面の研修より疲れる。

オンライン研修等について、多くのご意見・ご要望をいただきました。この結果を踏まえ、次年度の各種事業が県内教職員のニーズに合うものとなるよう一層努力してまいります。